

✧ 海外ニュース ✧

ベルギー 2019年1月7日 Verkehrs Rundschau

■ ベルギーの労働組合員が高速道路を封鎖する

BELGISCHE GEWERKSCHAFTER BLOCKIEREN AUTOBAHN

ベルギーの労働組合員は、トラック運転手を対象としたEU規則への抗議のため、フランス方面への高速道路を封鎖する。Belga報道社によると、彼らは月曜日にある駐車場に集結し、その後国境近くにあるレッケムの高速道路E17号において反対活動を行うという。

ドイツ 2019年1月7日 Verkehrs Rundschau

■ カッセル近郊のA44号は3日間完全に通行禁止となる

A 44 BEI KASSEL FÜR DREI TAGE VOLL GESPERRT

ベルクホイザー橋はトラックの重量計測設備導入のため、水曜日の真夜中まで通行禁止となる。月曜日から3日間にわたり、カッセル南JCTからカッセル西JCT間の高速道路44号は全体的に閉鎖される。Hessen Mobil社によると、ベルクホイザー橋の改修との関連から、トラックの重量計測設備を導入する。

ドイツ 2019年1月18日 Verkehrs Rundschau

■ 南西部の警察が、アルコールを理由に128人のトラック運転手を停車させた

POLIZEI IM SÜDWESTEN STOPPT 128 LKW-FAHRER WEGEN ALKOHOL

警察は、ラインラント＝プファルツ州およびバーデン＝ヴュルテンベルク州で大規模に取り締まり、先週の日曜日、特に東ヨーロッパからの約1,000人の運転手を調べた。その結果、運転する前から酔っている運転手が非常に高い割合で見つかった。多くのトラック運転手は週末の休息を終えた後、酔ったままの状態アウトバーンを走行している。そのため、先週の日曜日に複数の交通警察支所で、商品の日曜輸送禁止の終了時間直前およびドイツ南西部のサービスエリアからの継続通行開始時間直前に、大規模な取り締まりが行われた。特に東ヨーロッパからの運転手には好ましくない結果が見られた大規模な取り締まりは、トラック運転手の飲酒が原因の交通事故を減少させるのに貢献するはずである。

フランス 2019年1月18日 le Figaro

■ 高速道路使用料金：多頻度利用客への優遇措置を検討する高速道路運営会社

Péages : les sociétés autoroutières font un geste pour les usagers réguliers

木曜日、運輸大臣は、高速道路運営会社の代表者との話し合いで、2月に予定される通行料金引き上げの前に「努力」するよう要請した。高速道路運営会社はこれを受け入れ、月に10回以上高速道路を利用するドライバーへ30%の割引を検討することを約束した。政府は新たな不満の種を発火する前に押さえ込みたいと考えている。高速道路料金所が「黄色いベスト」たちに襲撃を受け、Vinciだけでも数千万ユーロの損害が出ている。2月に予定される1.8%の料金引き上げの際に同じ事態を防止したいのである。

ドイツ 2019年1月23日 Verkehrs Rundschau

■ 交通安全協議会は、区間レーダー取り締まりの強化を求めている

VERKEHRSSICHERHEITSRAT FORDERT MEHR STRECKENRADAR-KONTROLLEN

10年前に、交通公判会議は、車両の平均時速を計測する、区間取り締まりに対し賛成の立場を明らかにして

いた。現在、試験的な実施が初めて行われている。しかし、専門家たちはさらなる区間取り締まりを求めている。ドイツ交通安全協議会（DVR）はさらなる区間レーダー取り締まりに賛成を表明した。第57回ドイツ交通公判会議を念頭に置き、セクション・コントロールと呼ばれる装置をアウトバーンや連邦道路の超過速度による事故が多発している一部区間に導入するべきだと、DVR 報道官であるユリア・フォーマン氏は述べた。当該会議は今週ゴスラーで開催される。

トルコ 2019年1月24日 Yeni Safak

■ 2018年のトルコの橋、幹線道路の通行料収入は3億6,700万ドル

Turkey's bridge, highway tolls revenue \$367M in 2018

トルコでは昨年、イスタンブール海峡にかかる2つの橋と有料道路で18億リラ（3億6,700万ドル）の通行料金収入があったとトルコ・ハイウェイ局のデータから分かった。水曜日にアナドル通信社が集計したデータによると、この数値はリラ単位で測定された2018年は、前年比で23%の増加だった。2018年、ボスポラス海峡にまたがり欧州とアジアをつないでいる7月15日殉教者の橋およびファーティフ・スルタン・メフメト橋では、2つ合わせて4億6,430万リラ（9,780万ドル）の収入を得た一方で、トルコ全土にわたる有料幹線道路では13億リラ（2億7,200万ドル）を超える収入があった。データによると、昨年は4億6,300万台を超える車両が料金所を通過した。

ドイツ 2019年1月25日 Verkehrs Rundschau

■ VGT（ドイツ交通公判会議）：トラック事故による死者数を技術により減少させる

VGT : TECHNIK SOLL ZAHL TÖDLICHER LKW-UNFÄLLE SENKEN

ドイツ交通公判会議（VGT）で、専門家たちは、道路交通の安全性を高める鍵が現代のアシストシステムにあるという点で一致した。最新の操作および緊急ブレーキ・アシストにより、ドイツの道路におけるトラックやバスによる死者数は減少する見込みである。ドイツ交通公判会議（VGT）は、これに賛同の意を明らかにした。専門家は金曜日にニーダーザクセン州のゴスラーで、連邦政府に対しすべての新しいバスやトラックに、このシステムを導入することを義務づけるよう呼びかけた。連邦全体でのトラックおよびバス事故により、毎年約900人が命を落とし、8,500人が重傷を負っている。

フランス 2019年1月28日 Verkehrs Rundschau

■ フランスでの交通事故による死者の数はいまだかつてないほど減少した

ZAHL DER VERKEHRSTOTEN IN FRANKREICH SO NIEDRIG WIE NIE

当該国は歴史的な数値をたたき出した。道路上の死者数がいまだかつてないほど減少したのである。主な理由として国道での速度制限が挙げられる。フランスの道路における犠牲者数は、歴史的に低い数値を記録した。2018年の死者は2017年よりも189人少ない3,259人で、今までにこのように死者数が少ないことはなかったと、月曜日にパリ南東部のCoubertにおいて首相のエドゥアール・フィリップ氏が述べた。さらに、全体の事故件数や負傷者の人数も減少している。「昨年導入した対策は（速度制限：80 km/h など）がこの減少に重要な役割を果たしている」と話している。